

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 東洋インキSCホールディングス株式会社

コード番号 4634 URL <http://schd.toyoinkgroup.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 北川 克己

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当

(氏名) 青山 裕也

TEL 03-3272-5731

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	185,596	0.2	10,941	△28.2	10,808	△28.7	5,833	△35.9
23年3月期第3四半期	185,242	10.0	15,247	50.5	15,148	48.5	9,094	79.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 545百万円 (△90.0%) 23年3月期第3四半期 5,436百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	19.55	—
23年3月期第3四半期	30.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	279,339	142,553	49.7
23年3月期	274,797	146,034	51.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 138,939百万円 23年3月期 142,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	6.00	—		
24年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	245,000	△0.4	14,000	△26.9	13,800	△27.4	7,300	△36.6	24.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	303,108,724 株	23年3月期	303,108,724 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	4,716,376 株	23年3月期	4,711,810 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	298,394,114 株	23年3月期3Q	298,412,882 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経済状況は、前半は東日本大震災の影響による原材料の調達困難や、電力不安に伴う生産活動の制約、消費心理の冷え込みなどにより、低調な状況が続きました。また、後半はタイの洪水で再びサプライチェーンが混乱したうえ、欧州の財政危機が深刻さを増し、景気牽引役であった新興国も含め、世界的に経済が減速、急激な円高も進みました。

当企業グループの事業環境におきましても、国内外とも需要が伸び悩むとともに、コストダウン努力を上回る原材料価格の高騰が進みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,855億96百万円（前年同期比0.2%増）と、ほぼ前年同期並みでしたが、営業利益は109億41百万円（前年同期比28.2%減）、経常利益は108億8百万円（前年同期比28.7%減）、四半期純利益は58億33百万円（前年同期比35.9%減）と、それぞれ減益に終わりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 印刷・情報関連事業

オフセットインキは、国内では、出版、商業印刷市場とも、デジタル化に伴う構造的不況に加え、震災や電力不足に伴う広告自粛や景気回復の遅れなどにより、需要が低調に推移しました。また新聞市場も、前半、震災に伴い発行部数、頁数、カラー広告量が大幅に減少しました。このような環境下、サービスの差別化によるシェアアップや、UV高感度製品など高機能製品の拡販により販売量は維持したものの、原材料価格の高騰により、利益面では厳しい状況が続きました。

海外では、中国や東南アジア、インドなどで拡販が進みましたが、急激な円高により日本からの輸入品が伸び悩みましたうえ、原材料価格の高騰と合わせ、利益が圧迫されました。

さらにグラフィックアーツ関連機器及び材料も、国内オフセット印刷市場の低迷により、低調に推移しました。

これらの結果、当事業全体の売上高は573億30百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益は9億98百万円（前年同期比59.5%減）と、減収減益に終わりました。

② パッケージ関連事業

グラビアインキは、国内では、出版用は低調が続きましたが、食品、飲料、トイレタリー等の生活関連の包装用や住宅関連の建築材用は、後半、伸び悩みましたものの、概ね堅調に推移しました。また中国や東南アジアでも、食品包装用の需要が伸長しましたうえ、環境対応インキの拡販が進みました。さらに北米での建築材用も、堅調に推移しました。しかし、国内外とも原材料価格がさらに高騰しましたため、コストダウンや適正な販売価格への改定を進めるもカバーするに至らず、利益面ではオフセットインキ同様、厳しい状況が続きました。

また、国内のグラビア印刷用シリンダー製版事業は、震災を契機に包装デザインの変更需要が伸びず、低調に推移しました。

これらの結果、当事業全体の売上高は419億64百万円（前年同期比2.0%増）と増収になりましたが、営業利益は13億37百万円（前年同期比49.9%減）と減益に終わりました。

③ ポリマー・塗加工関連事業

缶用塗料（フィニッシュ）は、国内では猛暑でした前年同期と比較して減少しましたが、タイや中国では周辺地域への拡販もあり好調に推移しました。また樹脂は、復興需要により国内の建築関連用が堅調でした。

接着剤は、国内や韓国、東南アジアで包装用の需要が好調に推移したうえ、環境対応製品の拡販も進みました。また粘着剤は、前半好調でしたラベル用やディスプレイ用が後半伸び悩みました一方、前半低調でした自動車用が後半回復してきました。しかし、接着剤、粘着剤とも、原材料価格が大幅に上昇し、コストダウンや適正な販売価格への改定を進めるもカバーするに至らず、利益は圧迫されました。さらに塗工材料は、国内の広告サイン用が、前半、イベント等の自粛により低調でしたうえ、ディスプレイやエレクトロニクス用も需要が低調に推移しました。

これらの結果、当事業全体の売上高は396億96百万円（前年同期比1.5%増）と増収になりましたが、営業利益は21億70百万円（前年同期比34.8%減）と減益に終わりました。

④ 色材・機能材関連事業

汎用顔料は、印刷関連、自動車関連とも需要は伸び悩みましたが、拡販により堅調に推移しました。

プラスチック用着色剤は、海外での家電・OA機器用は、後半、伸び悩みましたものの、概ね堅調に推移しました。また国内では、前半低調でした自動車関連が後半回復しました一方、住宅関連は前半好調でした反動で後半

伸び悩みました。

高機能顔料や液晶ディスプレイカラーフィルター用材料は、韓国での拡販を進めたものの、テレビ需要が国内や欧米で低迷したうえ、中国などの新興国でも伸び悩み、液晶パネルメーカーでの在庫調整が続きましたため、国内や台湾で販売量が大幅に落ち込みました。

これらの結果、当事業全体の売上高は476億44百万円（前年同期比0.2%増）と微増収になりましたが、営業利益は51億74百万円（前年同期比23.4%減）と減益に終わりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

総資産の四半期末残高は2,793億39百万円で、期首残高より45億42百万円増加しました。当四半期末日が休日であったことから、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加し、原材料の調達不安や価格上昇に備えた先行購入により、たな卸資産が増加しました。一方、低調な株式相場を反映し、時価評価額が下落し、投資有価証券が減少しました。

負債の四半期末残高は1,367億85百万円で、期首残高より80億22百万円増加しました。支払手形及び買掛金は期末日が休日であったため、増加しました。

純資産の四半期末残高は1,425億53百万円で、期首残高より34億80百万円減少しました。当期分の利益計上に伴い、利益剰余金は増加しましたが、前述の投資有価証券の時価評価額の下落により、その他有価証券評価差額金と、円高の影響を受けた為替換算調整勘定が減少しました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は期初の予想より若干上回って推移しているものの、液晶ディスプレイや太陽電池、エレクトロニクス関連市場の需要の回復遅れは想定以上であり、これらの市場に向けた高機能製品の売上は予想より大幅に下回っております。また、原材料価格の上昇、円高の進行も想定を上回ったものであり、その結果、利益は期初の予想より低調に推移しております。

このような状況のもと、当企業グループとしては、高機能製品の拡充と拡販、徹底的なコストダウンと原価企画に基づいた製品開発、販売価格の適正な改定、グローバル化などの努力を進めておりますものの、残る3ヶ月間の需要は、世界的にさらに減速すると見込まれ、これらの諸施策をもってしても吸収できないものと判断するに至り、通期の業績予想を平成23年5月13日に発表した数値より下記のとおり変更することといたしました。

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	240,000	17,000	17,000	9,500	31.84
今回修正予想（B）	245,000	14,000	13,800	7,300	24.46
増減額（B－A）	5,000	△3,000	△3,200	△2,200	—
増減率（%）	2.1	△17.6	△18.8	△23.2	—
（ご参考）前期実績 （平成23年3月期）	245,958	19,145	19,002	11,517	38.60

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

（４）追加情報

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,760	28,007
受取手形及び売掛金	80,172	83,312
有価証券	678	798
商品及び製品	21,091	23,709
仕掛品	1,223	770
原材料及び貯蔵品	11,737	13,011
繰延税金資産	2,667	1,530
その他	3,894	4,020
貸倒引当金	△681	△668
流動資産合計	147,545	154,492
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	80,253	80,315
減価償却累計額	△49,030	△50,231
建物及び構築物（純額）	31,223	30,083
機械装置及び運搬具	126,265	125,344
減価償却累計額	△106,409	△107,963
機械装置及び運搬具（純額）	19,856	17,381
工具、器具及び備品	19,858	20,094
減価償却累計額	△17,345	△17,639
工具、器具及び備品（純額）	2,513	2,455
土地	26,660	26,465
リース資産	165	184
減価償却累計額	△55	△75
リース資産（純額）	110	108
建設仮勘定	2,251	3,746
有形固定資産合計	82,616	80,242
無形固定資産	1,041	939
投資その他の資産		
投資有価証券	30,713	26,979
繰延税金資産	1,443	4,941
その他	12,093	12,347
貸倒引当金	△657	△604
投資その他の資産合計	43,593	43,664
固定資産合計	127,251	124,847
資産合計	274,797	279,339

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,407	47,262
短期借入金	20,129	30,911
未払法人税等	5,221	3,057
その他	15,050	14,382
流動負債合計	79,809	95,613
固定負債		
長期借入金	45,206	35,336
繰延税金負債	1,342	2,001
退職給付引当金	1,387	1,408
環境対策引当金	337	337
資産除去債務	31	31
その他	646	2,056
固定負債合計	48,953	41,172
負債合計	128,763	136,785
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,733	31,733
資本剰余金	32,920	32,920
利益剰余金	91,749	94,001
自己株式	△1,727	△1,729
株主資本合計	154,675	156,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,862	△5,111
為替換算調整勘定	△10,696	△12,874
その他の包括利益累計額合計	△12,559	△17,986
少数株主持分	3,918	3,614
純資産合計	146,034	142,553
負債純資産合計	274,797	279,339

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	185,242	185,596
売上原価	140,460	144,638
売上総利益	44,781	40,957
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	4,487	4,373
給料及び手当	7,064	7,134
賞与	1,870	1,808
福利厚生費	1,796	1,800
減価償却費	802	883
研究開発費	2,464	2,247
その他	11,047	11,766
販売費及び一般管理費合計	29,533	30,015
営業利益	15,247	10,941
営業外収益		
受取利息	69	65
受取配当金	502	589
持分法による投資利益	136	68
その他	584	497
営業外収益合計	1,293	1,220
営業外費用		
支払利息	737	724
為替差損	460	364
その他	195	265
営業外費用合計	1,392	1,353
経常利益	15,148	10,808
特別利益		
固定資産売却益	19	69
その他	0	—
特別利益合計	19	69
特別損失		
固定資産除売却損	239	205
事業撤退損	—	1,198
その他	492	113
特別損失合計	731	1,517
税金等調整前四半期純利益	14,436	9,360
法人税、住民税及び事業税	5,144	3,610
法人税等調整額	△285	△330
法人税等合計	4,859	3,280
少数株主損益調整前四半期純利益	9,577	6,080
少数株主利益	483	247
四半期純利益	9,094	5,833

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,577	6,080
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△1,302	△3,250
為替換算調整勘定	△2,715	△2,201
持分法適用会社に対する持分相当額	△122	△82
その他の包括利益合計	△4,140	△5,535
四半期包括利益	5,436	545
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,240	405
少数株主に係る四半期包括利益	195	139

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	印刷・情報 関連事業	パッケージ 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	色材・ 機能材 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	57,581	40,334	38,005	45,589	181,510	3,731	185,242	—	185,242
セグメント間の内部 売上高又は振替高	251	807	1,116	1,942	4,117	1,528	5,645	(5,645)	—
計	57,833	41,141	39,122	47,531	185,628	5,259	190,888	(5,645)	185,242
セグメント利益 又は損失(△)	2,467	2,671	3,329	6,752	15,221	△406	14,814	433	15,247

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、役務提供等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額433百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	印刷・情報 関連事業	パッケージ 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	色材・ 機能材 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	57,082	41,190	38,701	45,252	182,226	3,369	185,596	—	185,596
セグメント間の内部 売上高又は振替高	247	774	995	2,392	4,410	1,210	5,620	(5,620)	—
計	57,330	41,964	39,696	47,644	186,636	4,580	191,217	(5,620)	185,596
セグメント利益	998	1,337	2,170	5,174	9,680	1,118	10,799	142	10,941

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、役務提供等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額142百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社は、平成24年1月16日開催の取締役会において、平成24年4月1日を効力発生日として、当社の完全子会社であるオリエンタル化成株式会社に対し、当社の完全子会社であるトーヨーケム株式会社の色材・機能材関連事業を吸収分割により承継させるとともに、当社の完全子会社であるトーヨーブラックス株式会社を吸収合併させることを決議いたしました。

なお、詳細につきましては、平成24年1月16日に公開いたしました「当社グループの色材・機能材関連事業の再編に伴う連結子会社間での吸収分割および合併ならびに当該連結子会社の商号変更等に関するお知らせ」をご参照下さい。